

# おう吐物の処理セット

----- 事前に準備しておきましょう -----

使い捨てペーパーなど	使い捨てマスク
 <p>おう吐物の拭き取り</p>	 <p>おう吐物中のウイルス吸い込み防止</p>
使い捨て手袋	ビニール袋
 <p>おう吐物中のウイルスに触れるのを防止</p>	 <p>おう吐物の廃棄 (穴が開いていないことを確認しておくこと)</p>
塩素系漂白剤 (次亜塩素酸ナトリウム)	薬用石けん
 <p>消毒 水で希釈して <b>1000ppm (0.1%) 次亜塩素酸ナトリウム</b>にして使用。 (濃度が市販品により異なるので注意※) ※使用する直前に必要量のみを希釈すること。</p> <p>※参考商品名 例) 約5~6%: ハイター、ブリーチ、ピューラックス 約1%: ミルトン</p>	 <p>手指の洗浄 (感染予防の基本)</p>

**ノロウイルス対策はアルコールや逆性石けんでは効果が期待できません!**

※ノロウイルスには、塩素系漂白剤か、加熱 (85℃以上、1分以上) が有効です。

※手指はどちらの方法もできませんので、石けんでよくもみ洗いし、ウイルスを洗い流すことが大切です。

# おう吐物の処理方法

患者のおう吐物や便には、大量のノロウイルスが存在する可能性があります。感染を広げないように、処理には十分気をつけましょう。

①



処理を始める前に、使い捨て手袋とマスク、エプロンを着用しましょう。

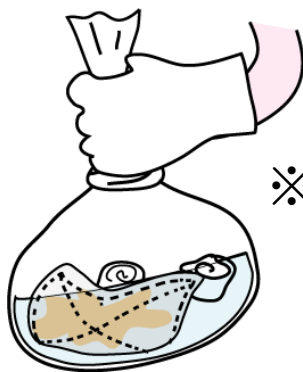
②

おう吐物



おう吐物を使い捨てペーパーなどでふき取りましょう。

③



※汚染物として扱います

おう吐物とふき取りに使った物をビニール袋に入れ、さらに消毒液（1000ppm 次亜塩素酸ナトリウム）を加えてから、袋の口をしぼりましょう。

④

消毒液

(1000ppm 次亜塩素酸ナトリウム)

※換気をするように注意してください

おう吐物をふき取った場所を、消毒液に浸したものでふいてしばらく放置し、さらに水でふきましょう。

⑤



汚染物と消毒に使用したものを全てをビニール袋に入れ、袋の口をしぼり、廃棄しましょう。

⑥



石けんでよく手を洗いましょう。最低 30 秒以上もみ洗いしましょう。

※消毒液を使用する際は、誤飲しないよう管理に気をつけましょう。

※消毒液は金属腐食性があります。ふき取った場所が金属の場合は特によく水ぶきしましょう。

※消毒液は漂白作用があります。服などにつかないように注意して扱しましょう。

# 消毒液の作り方

施設、おう吐物処理時の消毒液

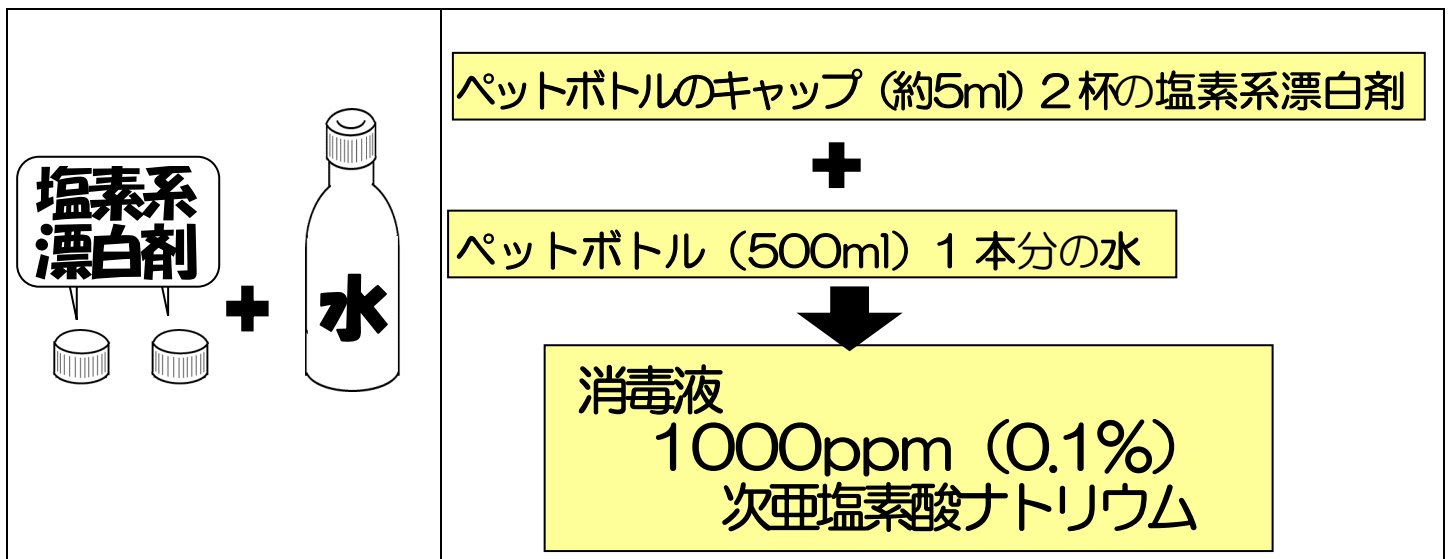
1000ppm (0.1%) 次亜塩素酸ナトリウム

—ペットボトルを使って作る方法—



＜準備するもの＞

- 5～6%次亜塩素酸ナトリウム  
(塩素系漂白剤として一般的に使用されるもの)
- ペットボトル 500ml
- 水



※希釈する前に、必ず使用する塩素系漂白剤の次亜塩素酸ナトリウム濃度を確認してください。

※ここで使用している塩素系漂白剤は、一般的に台所などで使用されている次亜塩素酸ナトリウム濃度 5～6%のものを使った希釈方法です。

参考商品名 例) 約5～6%: ハイター、ブリーチ、ピューラックス 約1%: ミルトンなど

(この希釈方法による消毒液濃度は、正確に 1,000ppm (0.1%) ではありませんが、消毒液として使用するのには適しています)

※ペットボトルの消毒液を誤って飲まないように、ラベルをするなどの工夫しましょう。

使用する直前に必要量のみ希釈するようにしましょう。



